

株式会社バリューHRとの資本業務提携について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、この度、株式会社バリューHR（代表取締役社長：藤田美智雄、以下「バリューHR」）と資本業務提携契約を締結しました。

当社は、現中期経営計画の柱の一つに健康長寿社会づくりの牽引を掲げ、自治体をはじめとした保険者や企業との連携を通じ、地域の住民や勤労者の健康増進に資する活動に取り組んでいます。具体取組の一つとして、当年度より、全国でがん検診の受診勧奨を行うとともに、受診されない理由等をアンケートで収集し、自治体に情報提供しており、地域の方々の声が反映されたがん検診運営に貢献しています。また、2018年から開始した「ニッセイ健康増進コンサルティングサービス（Wellness-Star☆）」では、保険者や企業に対して、健康増進取組を分析から予防策の提供までトータルで支援しています。

バリューHRは、「健康情報のデジタル化と健康管理のインフラ企業」を事業ビジョンとして、独自開発した健康管理プラットフォーム「バリューカフェテリア®システム」を、企業の健康管理システムや健康保険組合（以下「健保」）の保健事業支援システムとして提供し、現在、200万人以上が利用しています。また、健診代行機関および保健指導機関として、全国3,600を超える医療機関とのネットワークを有し、健診の予約・結果管理、特定保健指導といったサービスを提供しています。さらに、当プラットフォームを通じて、一人ひとりの健康状態を可視化することで、利用者の健康の保持・増進に貢献しています。

当社は、健康増進支援の領域で豊富な実績・ノウハウを有するバリューHRとの資本業務提携を契機に、同社プラットフォームを活用した保険者・企業向けの独自サービスを展開します。このサービスでは、一人ひとりの健康リテラシーの向上や健康の維持・増進を支援する仕組みを提供します。また、当プラットフォームを活用した生涯健康管理・健康行動支援サービス（PHRプラットフォーム※1）の普及を通じて、若年から中年・老後に至るまで、未病・予防や予後・介護の状態も含めたあらゆる健康データの管理・可視化を支援し、一人ひとりのQOL（Quality of life/生活の質）の向上を目指します。同時に、未病・予防領域において、両社それぞれの強みを活かし、企業の健康経営※2や福利厚生への支援に加え、保険者のデータヘルス計画※3やコラボヘルス※4の推進を行ってまいります。

今後は、バリューHRとの協働により、未病・予防領域を包括的にカバーし、保険者や企業の持続的な発展および利用者のウェルビーイングの向上を目指したサービス開発・提供に取り組んでまいります。これにより、一人ひとりが自ら健康データを管理できるPHR社会の実現と健康寿命の延伸に貢献してまいります。

※1 国民一人ひとりが一生涯のあらゆる健康データを管理し、本人が主体的に健康に関する意思決定を行うためのプラットフォーム。PHRはPersonal Health Recordの略。

※2 「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

※3 各保険者が健康診断結果やレセプト等データの分析に基づき、効率的・効果的な保健事業を実施する取り組み。

※4 保険者と企業が積極的に連携し、予防・健康づくりを効率的・効果的に実行すること。

<出資の内容>

1. 取得株式数	776,300 株
2. 出資額	約 11.1 億円
3. 出資後の出資比率	2.83%

※バリューHRが保有する自己株式を取得（詳細は同社の公表資料「資本業務提携に伴う第三者割当による自己株式処分に関するお知らせ」を参照）。

<業務提携の内容>

(1) 双方顧客基盤の拡大

- ①当社が企業や保険者、官公庁に対し、バリューHR社の健康管理サービス（健診予約・結果管理、カフェテリアプラン等）や健康保険組合向けサービス（BPO サービス・人材派遣サービス等）を紹介
- ②バリューHRが企業や保険者に対し、当社が提供する各種サービス（糖尿病予防プログラム等）を紹介

(2) 新サービスの開発

両者の協業によって得られる知識や経験に基づき、新サービスを共同で開発・提供

【バリューHRの概要】

1. 名称	株式会社バリューHR（東証プライム、証券コード 6078）
2. 主な事業内容	各種健康管理サービス（健診予約、健診結果管理、特定保健指導、カフェテリアプランなど）、健康保険組合の設立支援・人材派遣・BPO サービス 等
3. 設立年月	2001年7月
4. 所在地	東京都渋谷区
5. 代表者	代表取締役社長 藤田 美智雄

以 上

2023-4270G, 広報部